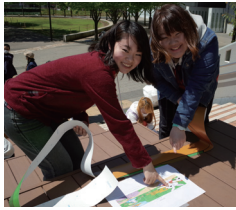


2016 流山グリーンフェスティバル #1

エド・アドが手掛ける
流山グリーンフェスティバルのステップアート。
今年も、流山おおたかの森 SC 前の大階段を華やかに飾った。

アリスうさぎ ステップアートが好評



通行人への配慮も忘れず、作業はテキパキと進んでいく。形になってくると、子どもたちや通りがかった人になすねられることも。

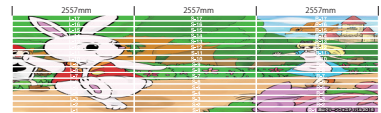


貼り方の注意や完成イメージの説明を受け、社長の指示で作業開始。初心者も多かった。



ステップアートができるまで

パンフレットや花絵のイメージと統一し、「アリス」の世界観がテーマに。動きのある鮮やかな絵に仕上がった。



一部、絵柄がずれそうになったが、みんなの協力でなんとか形に。作業する学生もだんだんと笑顔になっていった。



達成感に満ちたエド・アド社員たち

4月29日、流山おおたかの森駅前広場につづく大階段で、流山グリーンフェスティバルに向けたステップアートのシール貼り作業が行われた。日差しも風も強かったが、集まった10人はスムーズに作業を進めた。彼らは、江戸川大学の仮想広告会社「エド・アド」の社員たち。社長も社員も全員学生だ。顧問はマスコミ学科の残間義和教授と清水一彦教授だ。

エド・アドは、毎年このステップアートを手掛けている。デザインから作画、そして実際にシールを貼るところまですべて社員が行うのだ。廣島里菜社長（マスコミ学科3年生）は、2月に行われた実行委員会に顧問と共に出席し、今年のフェスティバルのテーマや、情報文化学科の廣田ゼミが手掛ける花絵のイメージを共有し、それを大学に持ち帰りデザイン案を練った。社員が出し合った様々なデザイン案のなかから、二度目の実行委員会でもうやくデザインが決定した。シール貼りの作業からは、新たに入社した1、2

年生も加わった。流山市のマーケティング課河尻和佳子さんの指導でスタート。午前10時からはじめたにも関わらず、11時にはもうアリスやウサギの姿がはつきり表れ、2時間たらずで完成。そのあとみんなでお昼を食べる余裕もあった。

間違いないで子供たちも大興奮

フェスティバルは、5月4日、みどりの日に開催されるはずだったが、今年は強風のため翌5日に延期された。当日は快晴。風もなく、気温30度の真夏日となった。

エド・アドでは、ステップアートの絵をもとにした間違った探しのチラシを子どもに配り、正解した先着50組の家族に花や野菜の苗をプレゼントした。こどもの日だからか、ステップアートの鮮やかな色合いが人目をひいたのか、開始から30分程ほどで、配布は終了。あまりの盛況ぶりに、対応するエド・アド社員も戸惑いぎみ。笑顔の絶えないイベント日の始まりだった。

（文：廣島里菜）